



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,397	16.0	170	49.0	163	64.1	66	44.9
28年3月期第3四半期	16,715	△2.1	114	119.0	99	382.5	45	△75.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 99百万円 (67.3%) 28年3月期第3四半期 59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	1.96	—
28年3月期第3四半期	1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,500	2,393	7.8
28年3月期	12,707	2,402	8.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,053百万円 28年3月期 1,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	26,700	12.2	360	36.3	340	37.3	180	193.0
								円 銭
								5.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	34,497,058 株	28年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	456,866 株	28年3月期	456,866 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	34,040,192 株	28年3月期3Q	34,408,903 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。
- ・当社は、決算補足説明資料を速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和により、緩やかな景気回復の動きが見られるものの、為替相場の変動懸念や中国をはじめとする新興国の景気減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の下、当社グループでは、M&Aの積極推進により事業規模拡大を目指しており、前期において和装宝飾事業及び卸売事業で新たな連結子会社を加えましたが、当四半期においては卸売事業でイエリデザインプロダクツ株式会社より横ニット企画販売部門の事業を譲り受け、業容の拡大を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、新規子会社の業績が好調に推移したこともあり、売上高は193億97百万円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益は1億70百万円（前年同四半期比49.0%増）、経常利益1億63百万円（前年同四半期比64.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

当社グループのセグメントの業績は、以下のとおりであります。

1) 「美容事業」

美容事業におきましては、競合店の増加・飽和状態が続く厳しい環境下で、当四半期において不採算店舗13店舗の閉鎖を実施し、人財配置を見直すほか、DM等販促活動の効率化を実施いたしました。なお、平成28年12月31日現在の店舗数は、直営89店舗、FCは5店舗となっております。

店舗閉鎖の影響により、売上高は16億57百万円（前年同四半期比7.4%減）となりましたが、人員数は一定の維持を図っており、人件費比率が増加しているため、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比57.3%減）となりました。今後、人財確保が図られた既存店において生産性を向上させるため、前下期に設置した研修センターでのスタッフ研修・教育を強化し、スタッフの技術力の向上、接客サービスレベルの向上に努めてまいります。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業におきましては、年末までの降雪不足によりウィンター商品販売が苦戦し、売上高は25億11百万円（前年同四半期比9.2%減）となり、セグメント損失は1億42百万円（前年同四半期はセグメント損失99百万円）の大幅減となりました。当四半期においては、通年型商品販売の強化を目指した3店舗の新規出店を実施しており、ウィンター偏重の収益構造から通年型商品を軸にした店舗政策への転換を推進してまいります。

なお、平成28年12月31日現在の店舗数は18店舗となっております。

3) 「DSM事業」

DSM事業におきましては、平成28年12月31日現在の店舗数は前年同四半期の74店舗から2店舗減の72店舗となり、販売員の減少により売上が減少しております。一方で、当四半期においてはセイビング会員の休眠顧客に対する掘り起し活動を推進し、販売強化に努めてまいりました。その結果、DSM事業の売上高は17億84百万円（前年同四半期比7.8%減）となり、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比33.7%減）となりました。

4) 「和装宝飾事業」

和装宝飾事業におきましては、前期新たに子会社化した株式会社すずきの業績が順調に推移し、売上高は79億35百万円（前年同四半期比66.2%増）、セグメント利益は2億23百万円（前年同四半期比119.4%増）と、大幅な増収増益となりました。

和装小売事業ではM&Aが増収増益へ大きく貢献しておりますが、既存店舗においても売上高は前年同四半期比で100.8%と堅調に推移しております。また当四半期は新規顧客獲得・固定顧客の安定化を図るため、2店舗の新規出店、5店舗の移転・改装を実施、和装小売事業の更なる収益拡大を目指してまいります。

なお、宝飾小売店舗では5店舗閉鎖を実施しており、平成28年12月31日現在の店舗数は、和装等小売店舗が100店舗、宝飾小売店舗が15店舗となっております。

5) 「卸売事業」

卸売事業におきましては、前期事業譲受した和装小物卸売事業の株式会社吉利や、当四半期にイエリデザインプロダクツ株式会社より事業譲受した横ニット企画販売事業の業績が好調に推移したことにより、売上高は50億20百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。また利益面につきましてもM&Aによる寄与のほか、既存卸売事業において売上総利益率の改善や販売管理費の効率化を図ることで利益の向上に努めたことにより、セグメント利益68百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠捺糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、意匠捺糸販売が好調に推移したものの為替の影響により4億86百万円（前年同四半期比1.7%減）となりましたが、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）と改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億93百万円増加し135億円となりました。これは主に、現金及び預金が4億49百万円増加、受取手形及び売掛金が2億3百万円増加、商品及び製品が3億47百万円増加、敷金及び保証金が2億50百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ8億2百万円増加し111億6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億71百万円増加、電子記録債務が2億88百万円増加、未払金が99百万円増加、前受金が77百万円増加、長期借入金が4億25百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ9百万円減少し23億93百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金66百万円の増加、剰余金の配当68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成28年5月13日付「平成28年3月期決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,917,381	2,366,479
受取手形及び売掛金	2,701,598	2,904,730
電子記録債権	169,360	199,294
商品及び製品	3,666,911	4,014,364
仕掛品	14,290	15,522
原材料及び貯蔵品	56,407	95,885
繰延税金資産	29,009	29,009
その他	339,206	386,777
貸倒引当金	△43,185	△45,245
流動資産合計	8,850,981	9,966,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,906,066	1,928,775
減価償却累計額	△1,339,802	△1,340,956
建物及び構築物(純額)	566,264	587,819
機械装置及び運搬具	13,873	13,873
減価償却累計額	△13,451	△13,501
機械装置及び運搬具(純額)	422	371
工具、器具及び備品	450,296	433,214
減価償却累計額	△403,767	△382,398
工具、器具及び備品(純額)	46,529	50,815
土地	743,633	743,633
リース資産	81,160	82,008
減価償却累計額	△39,963	△50,986
リース資産(純額)	41,197	31,021
有形固定資産合計	1,398,046	1,413,662
無形固定資産		
のれん	237,919	195,718
その他	115,223	94,726
無形固定資産合計	353,142	290,444
投資その他の資産		
投資有価証券	161,051	172,438
長期貸付金	27,682	12,117
繰延税金資産	92,544	89,774
敷金及び保証金	1,591,276	1,340,423
その他	322,817	293,401
貸倒引当金	△90,539	△78,789
投資その他の資産合計	2,104,832	1,829,365
固定資産合計	3,856,021	3,533,473
資産合計	12,707,003	13,500,292

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,134	3,569,057
電子記録債務	495,282	783,327
短期借入金	584,800	661,000
1年内償還予定の社債	36,400	36,400
1年内返済予定の長期借入金	440,444	423,010
未払金	673,339	772,357
前受金	1,829,343	1,906,716
未払法人税等	78,557	50,553
賞与引当金	78,557	78,767
返品調整引当金	29,905	28,216
ポイント引当金	52,008	54,684
株主優待引当金	4,321	4,321
資産除去債務	17,430	5,980
その他	419,689	451,104
流動負債合計	7,537,215	8,825,496
固定負債		
社債	110,200	73,800
長期借入金	2,011,190	1,585,370
長期末払金	175,687	187,262
繰延税金負債	34,616	37,407
資産除去債務	327,910	319,138
その他	107,384	78,353
固定負債合計	2,766,989	2,281,330
負債合計	10,304,204	11,106,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	999,153	989,480
自己株式	△53,008	△53,008
株主資本合計	1,046,145	1,036,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,079	14,777
為替換算調整勘定	10,935	2,055
その他の包括利益累計額合計	23,015	16,833
非支配株主持分	1,333,638	1,340,159
純資産合計	2,402,798	2,393,464
負債純資産合計	12,707,003	13,500,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,715,716	19,397,280
売上原価	9,852,246	10,771,835
売上総利益	6,863,470	8,625,445
販売費及び一般管理費	6,748,887	8,454,669
営業利益	114,582	170,775
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,910	4,663
受取地代家賃	9,011	9,860
為替差益	-	16,732
助成金収入	-	9,270
協賛金収入	6,514	6,161
その他	21,458	16,212
営業外収益合計	41,895	62,900
営業外費用		
支払利息	34,533	27,649
手形売却損	1,230	1,091
前受金復活損失	2,779	27,672
その他	18,169	13,574
営業外費用合計	56,712	69,988
経常利益	99,765	163,687
特別利益		
投資有価証券清算益	-	7,961
段階取得に係る差益	3,999	-
投資有価証券売却益	20,870	-
事業譲渡益	7,890	-
その他	-	1,556
特別利益合計	32,761	9,517
特別損失		
固定資産除却損	2,383	98
減損損失	967	940
店舗閉鎖損失	7,781	11,066
その他	369	150
特別損失合計	11,503	12,256
税金等調整前四半期純利益	121,024	160,948
法人税、住民税及び事業税	66,584	51,683
法人税等調整額	17	2,457
法人税等合計	66,601	54,141
四半期純利益	54,423	106,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,493	40,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,930	66,570

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	54,423	106,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,920	8,380
為替換算調整勘定	△1,854	△15,654
その他の包括利益合計	5,066	△7,274
四半期包括利益	59,489	99,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,060	60,388
非支配株主に係る四半期包括利益	12,428	39,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月15日 取締役会	普通株式	68,962	2.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年11月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式440,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が49,989千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が53,008千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	68,080	2.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,790,394	2,766,859	1,935,648	4,775,798	4,952,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	57,776
計	1,790,394	2,766,859	1,935,648	4,775,798	5,009,788
セグメント利益又は損失(△)	44,614	△99,208	63,904	101,912	54,062

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	16,220,713	495,003	16,715,716	—	16,715,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,776	33,332	91,109	△91,109	—
計	16,278,489	528,336	16,806,826	△91,109	16,715,716
セグメント利益又は損失(△)	165,285	△6,824	158,461	△43,878	114,582

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失の調整額△43,878千円には、セグメント間取引消去6,716千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,974千円及び棚卸資産の調整額△7,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	967	—	—	—	967

(のれんの金額の重要な変動)

企業結合会計基準等の適用により、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが105,850千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間において、株式会社すずのきの株式を取得し、当社の子会社としたことに伴い、「和装宝飾事業」セグメントにおいてのれんが246,090千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,657,895	2,511,546	1,784,913	7,935,509	5,020,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	136	—	—	—	108,967
計	1,658,032	2,511,546	1,784,913	7,935,509	5,129,822
セグメント利益又は損失(△)	19,056	△142,422	42,378	223,609	68,218

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	18,910,720	486,559	19,397,280	—	19,397,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109,103	30,476	139,580	△139,580	—
計	19,019,824	517,036	19,536,860	△139,580	19,397,280
セグメント利益又は損失(△)	210,839	1,255	212,095	△41,320	170,775

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失の調整額△41,320千円には、セグメント間取引消去6,716千円、のれんの償却費△34,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,250千円及び棚卸資産の調整額△9,586千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	907	33	—	—	—	—	—	940